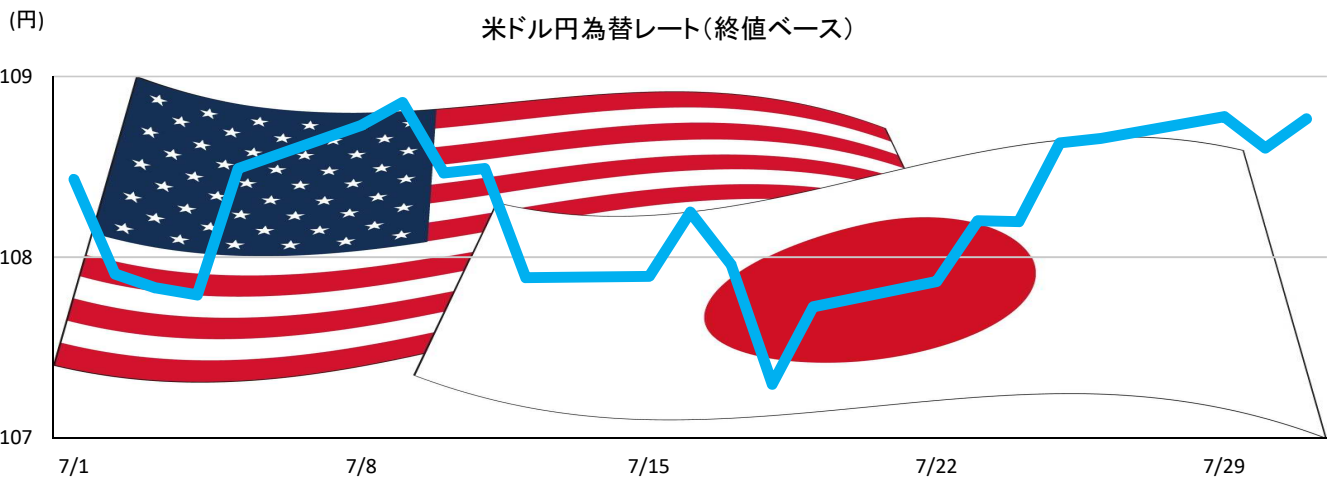


MARKET REVIEW

先月の振り返り：7月のドル円相場は107円前半～109円で推移。月初は米中貿易協議再開や良好な雇用統計の結果を受けて、108円後半までドル高が進行。月中にかけて、良好な米国経済指標によるドル買いとFRBの金融政策によるドル売りの攻防。パウエルFRB議長の議会証言が弱気だったことやFOMC議事録要旨にて、景気動向次第で近いうちに利下げが正当化されるとの報もあり一転ドル売りとなった。その後はトランプ大統領の発言や良好な米国経済指標を受けて、市場が見込んでいた0.5%利下げ観測が後退したこともあり、再びドル買いの流れに。月末のFOMCにおいて予想通り利下げは行われたものの、パウエルFRB議長が長期利下げサイクルの始まりではないとの発言から109円まで円安ドル高が進行した。



EXTRA VISION

今後の展開：FOMCをきっかけに再度ドル高の動きとなったが、トランプ大統領の中国に対して制裁課税第4弾発動との発言をきっかけに、市場の流れがドル売りとなり、米雇用統計の結果と相まって、2日間で3円以上のドル安円高。さらに米財務省が中国を為替操作国に指定したことが伝わると105円台半ばまでドル安円高が進行した。米中貿易摩擦が悪化の一途をたどる中、大荒れ状態からは一先ず落ち着きを取り戻しつつある市場だが、米中の対立を戦争と表現するエコノミストも出てきており、対立関係が長期化する懸念はぬぐい切れていない。今後対話ムードが演出できなければさらなるドル安も危惧されるため、今しばらくは慎重に対応していきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
8 / 29 (木)	21 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
9 / 6 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
9 / 9 (月)	8 : 50	JP	日GDP改定値	☆☆☆☆
9 / 12 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
9 / 13 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
9 / 19 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
9 / 19 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。